



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 東京製綱株式会社
コード番号 5981 URL <http://www.tokyorope.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 裕明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 佐藤 和規

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6366-7777

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-----|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 47,870 | △10.6 | 2,790 | 8.2 | 2,017 | △39.3 | 1,271 | △63.6 |
| 27年3月期第3四半期 | 53,532 | 6.5 | 2,578 | 8.5 | 3,323 | 16.9 | 3,495 | 1.7 |

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 539百万円 (△88.7%) 27年3月期第3四半期 4,784百万円 (66.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 7.90 | 7.85 |
| 27年3月期第3四半期 | 23.70 | 21.67 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 90,511 | 23,062 | 23.2 |
| 27年3月期 | 87,259 | 22,320 | 23.2 |

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 20,986百万円 27年3月期 20,261百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 28年3月期(予想) | | | | 4.00 | 4.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「A種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 73,500 | 0.2 | 4,200 | 6.4 | 3,900 | △13.0 | 3,000 | △22.3 | 18.93 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(注) 当四半期累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 四半期連結財務諸表作成に係る会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示になります。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期3Q | 162,682,420 株 | 27年3月期 | 162,682,420 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 56,582 株 | 27年3月期 | 17,529,456 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期3Q | 157,066,342 株 | 27年3月期3Q | 145,174,018 株 |

(注) 平成27年6月5日開催の取締役会決議に基づき、公募による自己株式の処分(15,220,000株)及び第三者割当による自己株式の処分(2,280,000株)を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) A種種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-----------|-----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | — | — | 32,917.80 | 32,917.80 |
| 28年3月期 | — | — | — | | |
| 28年3月期(予想) | | | | — | — |

(注) 当社は平成27年7月9日付をもって、発行済A種種類株式の全てを取得し、同日付で消却いたしました。これにより、平成28年3月期以降、A種種類株式に係る配当金は発生いたしません。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調が続く一方で、中国経済の減速や原油価格の下落など、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、エレベーターロープや道路安全施設の売上が増加した一方で開発製品関連において前期に海外プロジェクト案件の売上を計上した反動や、原油安に伴う石油製品関連の売上減少等により、47,870百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

利益面では、エレベーターロープ等の売上増、開発製品関連の収益改善により、営業利益は2,790百万円（前年同期比8.2%増）となりましたが、主に外貨建債権の評価替えに伴う為替差損の影響により、経常利益は2,017百万円（前年同期比39.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,271百万円（前年同期比63.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(鋼索鋼線関連)

ワイヤ製品においては、主にプロジェクト案件向けが減少しておりますが、国内におけるワイヤロープ、ベトナムにおけるエレベーターロープ、繊維ロープの売上は、いずれも堅調に推移しております。

その結果、当事業の売上高は21,496百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

(スチールコード関連)

市況悪化に伴い、中国におけるタイヤコードの販売数量が減少し、また国内においても、当期間におけるタイヤコードの販売数量は前年を下回っております。

その結果、当事業の売上高は9,982百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

(開発製品関連)

国内における道路関連製品の売上が増加しておりますが、前期に海外プロジェクト案件の売上を計上した反動があり、当事業の売上高は10,038百万円（前年同期比27.9%減）となりました。

(不動産関連)

青森県八戸市にて平成27年6月に開始した太陽光発電事業での売電収入も寄与し、売上高は946百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

(その他)

主に石油製品関連の売上が減少し、売上高は5,406百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に棚卸資産の増加により、前連結会計年度末と比べ3,251百万円増加の90,511百万円となりました。

負債については、借入金は減少したものの、仕入債務、前受金等の流動負債の増加により、前連結会計年度末と比べ2,509百万円増加の67,448百万円となりました。

純資産については、A種種類株式の取得及び消却、有価証券評価差額金の減少があったものの、自己株式の処分、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末と比べ742百万円増加の23,062百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年5月13日決算発表時に公表しました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,708 | 5,062 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,819 | 13,981 |
| 商品及び製品 | 5,383 | 5,917 |
| 仕掛品 | 3,751 | 5,558 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,655 | 4,356 |
| 繰延税金資産 | 762 | 765 |
| その他 | 1,413 | 2,726 |
| 貸倒引当金 | △541 | △193 |
| 流動資産合計 | 33,953 | 38,175 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 9,968 | 9,935 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 6,548 | 6,467 |
| 土地 | 19,819 | 19,782 |
| 建設仮勘定 | 525 | 375 |
| その他(純額) | 990 | 1,667 |
| 有形固定資産合計 | 37,853 | 38,228 |
| 無形固定資産 | 339 | 327 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,463 | 8,935 |
| 退職給付に係る資産 | 109 | 112 |
| 繰延税金資産 | 2,022 | 2,321 |
| その他 | 3,957 | 3,961 |
| 貸倒引当金 | △1,446 | △1,553 |
| 投資その他の資産合計 | 15,107 | 13,777 |
| 固定資産合計 | 53,300 | 52,333 |
| 繰延資産 | 5 | 2 |
| 資産合計 | 87,259 | 90,511 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,712 | 13,461 |
| 短期借入金 | 10,196 | 12,709 |
| 未払費用 | 3,459 | 3,695 |
| 賞与引当金 | 845 | 461 |
| その他 | 3,849 | 7,842 |
| 流動負債合計 | 30,063 | 38,170 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 20,928 | 16,148 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 4,856 | 4,849 |
| 退職給付に係る負債 | 6,027 | 5,631 |
| その他 | 3,063 | 2,648 |
| 固定負債合計 | 34,875 | 29,277 |
| 負債合計 | 64,939 | 67,448 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000 | 1,000 |
| 資本剰余金 | 3,781 | 796 |
| 利益剰余金 | 7,816 | 9,020 |
| 自己株式 | △3,281 | △11 |
| 株主資本合計 | 9,316 | 10,805 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,936 | 1,284 |
| 土地再評価差額金 | 10,474 | 10,460 |
| 為替換算調整勘定 | 120 | △99 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,586 | △1,464 |
| その他の包括利益累計額合計 | 10,944 | 10,181 |
| 非支配株主持分 | 2,058 | 2,075 |
| 純資産合計 | 22,320 | 23,062 |
| 負債純資産合計 | 87,259 | 90,511 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 53,532 | 47,870 |
| 売上原価 | 43,487 | 37,692 |
| 売上総利益 | 10,044 | 10,178 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,466 | 7,388 |
| 営業利益 | 2,578 | 2,790 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 20 | 17 |
| 受取配当金 | 118 | 133 |
| 為替差益 | 1,163 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 296 | — |
| その他 | 427 | 168 |
| 営業外収益合計 | 2,026 | 319 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 655 | 345 |
| 為替差損 | — | 259 |
| 資金調達費用 | 154 | — |
| その他 | 471 | 487 |
| 営業外費用合計 | 1,281 | 1,092 |
| 経常利益 | 3,323 | 2,017 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 8 | 4 |
| 投資有価証券売却益 | 260 | 10 |
| 事業譲渡益 | 147 | — |
| その他 | — | 3 |
| 特別利益合計 | 417 | 18 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,740 | 2,035 |
| 法人税等 | 227 | 746 |
| 四半期純利益 | 3,513 | 1,288 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 17 | 17 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,495 | 1,271 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 3,513 | 1,288 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 804 | △652 |
| 為替換算調整勘定 | 6 | 111 |
| 退職給付に係る調整額 | 370 | 122 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 90 | △331 |
| その他の包括利益合計 | 1,271 | △749 |
| 四半期包括利益 | 4,784 | 539 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,767 | 521 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 17 | 17 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結会計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(1) A種種類株式の取得及び消却

①A種種類株式の取得

当社は、平成27年5月22日開催の取締役会決議に基づき、平成27年7月9日をもって、A種種類株式2,500株を取得しました。

| | |
|----------|----------------|
| 自己株式の増加額 | 3,080,430,250円 |
|----------|----------------|

②A種種類株式の消却

上記①の内容で当社が取得したA種種類株式の全部につき消却いたしました。

| | |
|----------|----------------|
| 自己株式の減少額 | 3,080,430,250円 |
|----------|----------------|

| | |
|-----------|----------------|
| 資本剰余金の減少額 | 3,080,430,250円 |
|-----------|----------------|

(2) 普通株式に係る自己株式の処分

①公募による自己株式の処分

当社は、平成27年6月5日開催の取締役会決議に基づき、平成27年6月22日を払込期日として、公募による自己株式の処分を行いました。

| | |
|-------|-------------|
| 株式の総数 | 15,220,000株 |
|-------|-------------|

| | |
|----------|----------------|
| 自己株式の減少額 | 2,849,525,472円 |
|----------|----------------|

| | |
|-----------|-------------|
| 資本剰余金の増加額 | 83,064,128円 |
|-----------|-------------|

②第三者割当による自己株式の処分

当社は、平成27年6月5日開催の取締役会決議に基づき、平成27年7月23日を払込期日として、第三者割当による自己株式の処分を行いました。

| | |
|-------|------------|
| 株式の総数 | 2,280,000株 |
|-------|------------|

| | |
|----------|--------------|
| 自己株式の減少額 | 427,003,636円 |
|----------|--------------|

| | |
|-----------|-------------|
| 資本剰余金の増加額 | 12,306,764円 |
|-----------|-------------|

この結果、主に上記の自己株式の処分を原因として、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,270百万円減少し、資本剰余金が2,985百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が11百万円、資本剰余金が796百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 | 調整額 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 |
|-------------------------|------------|-------------------|------------|-----------|--------|------------|--------|--------|---------------------------|
| | 鋼索鋼線 関連 | スチール コード 関連 | 開発製品 関連 | 不動産 関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 20,557 | 11,261 | 13,918 | 864 | 46,602 | 6,929 | 53,532 | — | 53,532 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 171 | 52 | 242 | — | 467 | 825 | 1,292 | △1,292 | — |
| 計 | 20,729 | 11,314 | 14,161 | 864 | 47,069 | 7,755 | 54,824 | △1,292 | 53,532 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 1,275 | 593 | 407 | △27 | 2,249 | 329 | 2,578 | — | 2,578 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械事業、粉末冶金事業及び石油事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 | 調整額 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 |
|-----------------------|------------|-------------------|------------|-----------|--------|------------|--------|--------|---------------------------|
| | 鋼索鋼線 関連 | スチール コード 関連 | 開発製品 関連 | 不動産 関連 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 21,496 | 9,982 | 10,038 | 946 | 42,463 | 5,406 | 47,870 | — | 47,870 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 130 | 42 | 244 | — | 417 | 620 | 1,038 | △1,038 | — |
| 計 | 21,626 | 10,025 | 10,283 | 946 | 42,881 | 6,027 | 48,909 | △1,038 | 47,870 |
| セグメント利益 | 1,422 | 514 | 473 | 60 | 2,470 | 320 | 2,790 | — | 2,790 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械事業、粉末冶金事業及び石油事業を含んでおります。